



2024年5月14日

各 位

名古屋市中村区亀島二丁目13番8号
明治電機工業株式会社
代表取締役社長 杉脇弘基
(コード番号：3388 東証プライム市場)
問合せ先：企画管理本部長 成瀬克久
(TEL 052-451-7661)

第11次中期経営計画の策定に関するお知らせ

当社は、2024年度を初年度とする第11次中期経営計画を策定しましたので、その概要につきまして下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 期間

2024年4月1日～2027年3月31日（3か年）

2. スローガン

「エリア No. 1 の存在価値のあるパートナーになる」

※エリア No. 1 とは、地域で最も信頼され、地域で最も愛され、地域の人々の笑顔のために、地域社会と持続的な成長を分かち合うことを意味し、このエリア No. 1 の集合体が世界の No. 1 につながると考えています。

3. 基本方針

(1) 事業品質向上

- ・各地域における事業品質（安全、品質）の向上
全社横断で安全と品質の向上を推進する＝エリア No. 1 の安全・品質の実現
(エンジニアリングビジネス、部材ビジネスの安全、品質向上)。

(2) 成長投資と収益力強化

- ・成長領域への人的投資
エリア毎にポテンシャル及び収益性の高いビジネス領域へリソースを投入。
- ・生産性向上
労働付加価値生産性向上に向けた社内DXの推進。
- ・コアビジネスの強化と全エリアへの展開
高い安全、品質によるエンジニアリングビジネス、部材ビジネスの推進と全社展開による収益力の向上。
専門性の高いスキルによるエリア No. 1 の提案力と訴求力の向上。
- ・海外ビジネスの拡大
グローバル化するものづくりのサポートのための組織力強化。

(3) サステナビリティ推進

- ・事業を通じた社会課題への貢献
労働力人口減少に向けた更なる自動化、省人化提案の強化。
脱炭素ビジネスの推進（ものづくりにおける環境負荷低減支援）及び自社カーボン

ニュートラルの推進。

・サステナビリティ経営推進

人的資本強化に向けた人事制度改定、教育プログラムの見直し。

サステナビリティ推進体制の整備。

(4) 資本コスト経営（資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応）

・収益力強化

ROE 10%以上、営業利益率 5%以上を目標とした第 11 次中期経営計画の推進。

・株主還元の充実

株主価値の最大化と企業価値の持続的向上のため下限配当を設定。

（第 11 次中期経営計画期間（2025 年 3 月期～2027 年 3 月期）においては、1 株当たり年間配当金の下限値を 60 円とする）。

・IR活動の充実

投資家との対話、英文開示及び非財務情報の開示強化。

4. 販売計画（連結）

（百万円）

| | 第 11 次中期経営計画 | | |
|---------------------|--------------|-------------|-------------|
| | 2025 年 3 月期 | 2026 年 3 月期 | 2027 年 3 月期 |
| 売上高 | 78,500 | 84,000 | 90,000 |
| 営業利益 | 3,250 | 3,980 | 4,860 |
| 経常利益 | 3,490 | 4,190 | 5,070 |
| 親会社株主に帰属 する当期純利益 | 2,510 | 3,000 | 3,630 |
| 営業利益率 | 4.1% | 4.7% | 5.4% |
| ROE | 7.9% | 8.9% | 10.0% |

以 上